

【工業:建築・デザイン科】

平成25年度 指導と評価の年間計画(シラバス)

盛岡工業高校 全日制課程

教科		建築施工	単位数	2	学科・学年	建築・デザイン科 2年							
使用教科書		建築施工 実教出版(株)			副教材	図説 建築資料集(実教出版)							
到達目標(具体的な取り組み【評価基準を念頭に置いた指導上の留意点】)								評価の重点					
建築施工に関する基礎的な知識と技術について関心をもたせ、その習得にむけて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身につけるように育てる。 ・ 建築施工にたずさわる技術者に必要な基礎的な知識と技術に関心を持ち、様々な技能者の仕事内容の把握に意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を習得させる。 ・ 施工工事に関する基礎的な知識と技術について関心をもたせ、実際に活用しようとする態度を習得させる。								関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域)			主な学習活動・評価のポイント		評価方法						
前期中間	4	第1章 建築施工を学ぶにあたって			・ 建築生産の特殊性を把握させる ・ 仕事の役割を明確に把握させ、建築物の完成までの流れを把握させる ・ 地盤敷地調査、解体工事の流れ、仮設工事の内容、流れ等を理解させる。		授業態度 設問・発言 演習問題						
	5	第2章 1 建築施工のあらまし 2 工事準備 3 地盤と敷地 4 仮設工事 5 足場、防災			・ 杭工事、根切り、山止め等、基礎工事の施工法を理解させる ・ 基礎・土工事・地業の概略を把握させる		前期中間考査		○	○	○	○	○
	6	第3章 地面から下の工事 1 土工事地業工事の種類 2 土工事 3 根切り工事											
前期末	6	4 地業工事			・ 建築構造、製図と関連付けて指導する。 ・ 構造による躯体工事の違いと、工事の流れ、工場作業の内容を理解させる。 ・ 在来工法と枠組壁工法の特徴を理解させる。		授業態度 設問・発言 レポート						
	7	第4章 躯体工事 1 現躯体工事のあらまし 2 木工事 3 鉄筋コンクリート工事			・ 片枠、配筋、コンクリート工事について理解させる。 ・ かぶり厚さ・コンクリートの充填等を理解させる。		前期末考査		○	○	○	○	○
	8												
	9												
後期中間	9	4 鋼構造 5 鉄骨鉄筋コンクリート構造 6 プレキャスト鉄筋コンクリート構造			・ 鋼材の準備加工、製作等を理解させる。 ・ 現場における組立、接合等を理解させる。 ・ 基礎、鉄骨鉄筋等、鉄骨鉄筋コンクリート構造における施工の特殊性を理解させる。 ・ プレキャスト鉄筋コンクリート構造における工場作業と現場作業を理解させる。		授業態度 設問・発言 演習問題 レポート 小テスト						
	10						後期中間考査		○	○	○	○	○
	11												
学年末	11	第5章 仕上げ、設備工事			・ 仕上げ・設備工事の意義を把握させる。 ・ どのような種類の工事があるか理解させる。		授業態度 設問・発言 演習問題						
	12	1 仕上げ、設備工事のあらまし 2 仕上げ初期工事 3 設備工事 4 表面仕上げ工事			・ 屋根外装、間仕切天井、建具工事の重要性、目的と種類・工法について指導する。 ・ 給水・給湯工事等の目的と材料を理解させる。		レポート 小テスト						
	1				左官、防水、内外装等の工法を理解させる。 ・ 施工図例を用いて理解させる		学年末考査		○	○	○	○	○
	2												
	3												

【工業:建築科】

平成25年度 指導と評価の年間計画(シラバス)

盛岡工業高校 全日制課程

教科	建築施工	単位数	2	学科・学年	建築・デザイン科3年							
使用教科書	建築施工(実教出版・工業088)			副教材	図説 建築資料集(実教出版)							
到達目標(具体的な取り組み【評価基準を念頭に置いた指導上の留意点】)								評価の重点				
建築施工に関する基礎的な知識と技術について関心をもたせ、その習得にむけて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身につけるように育てる。 ・ 2年次の学習を基に、建築施工の流れと概略を確認の後、構造、計画、法規、さらには施工技術者試験といった分野にも関連付けた学習を展開する。 ・ 建築生産の特殊性と流れ、工程管理、工事契約、施工管理等建設業法にかかわる実務的な分野を幅広く学び、建設業において将来を確立できる技術者を育てる。								関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域)	主な学習活動・評価のポイント		評価方法							
前期中間	4	第1章 建築施工のあらまし 1 建築生産と手続き 2 建築施工の流れ	建築生産の特殊性、申請および施工の一連の流れを確認させる。		授業態度 設問・発言 演習問題 レポート		○	○	○	○	○	
	5	第7章 建築契約と施工管理 1 契約と管理 2 工事契約	建設工事における請負工事の特殊性を、建設業法と関連付けて理解させる。 さまざまな契約と発注方法を理解させる。		前期中間考査							
	6	3 現場組織	工事事務所と施工体制を理解させる。									
前期末	6	4 施工管理	設計図書の確認と施工図について理解させる 仮設計画と工程管理について理解させる。		授業態度 設問・発言 演習問題 レポート		○	○	○	○	○	
	7		さまざまな工程表の特徴を理解し、ネットワーク等の工程表を読むことができる。 品質計画と管理、検査について理解させる。		前期末考査							
	8		安全衛生と管理、環境計画と管理に関しては、労働安全基準法等の法令と関連づけ、理解させる									
	9		演習問題を多用して、理解を深める。									
後期中間	9	第8章 建築工事費の算出 積算のあらまし	積算の流れと業務の概要を理解させる 積算に必要な書類の種類を把握させる。		授業態度 設問・発言 演習問題 レポート 設問・発言		○	○	○	○	○	
	10	1 積算の種類と方法 2 工事費の積算方法	積算の分類と基本事項を理解させる。 算出方法を把握させ、積算方法を学習させる。 直接工事費と共通費等について理解させる。 演習により、定着度を確認する。									
	11	3 建築工事内訳書	建築工事内訳書の構成と書式について学ぶ。		小テスト 後期中間考査		○	○	○	○	○	
学年末	11	第6章 建築物の維持と保全			授業態度 設問・発言 演習問題 レポート		○	○	○	○	○	
	12	1 建築物の維持保全のあらまし 2 維持保全の分類と考え方	建築物の維持保全の必要性を理解させる。 維持保全の分類と定義、考え方を理解させる。 主要構造部における維持保全を理解させる。 開口部の維持保全の要点を理解させる。									
	1	3 各部の維持保全	建築設備の維持管理の重要性を認識させる。		授業態度 設問・発言 小テスト 学年末考査		○	○	○	○	○	
	2											
	3											